
列車に乗った男

夢野ユーマ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

列車に乗った男

【Nコード】

N8253P

【作者名】

夢野ユーマ

【あらすじ】

ある老学者の選んだ未来。

（前書き）

パトリス・ルコントの同名映画に敬意を捧げて。

有江教授は大学に向かう地下鉄の駅にたたずんでいた。

学生時代は今、住んでいるより大きい邸宅に家族と住んでいて、お手伝いさんが作ってくれるお弁当を持って大学に通っていた。

家にそれなりの財産があつたので、就職に追われず、大学に残って古典を研究しているうちに論文が賞を取り、私大の講師などを歴任することになり、最後は教授になり、母校に帰ってきた。

結婚はしなかった。有江教授は生命力や生活感のうすいヨーロッパの妖精のような人だった。

研究をやってきた人生を悔いてはいなかった。他の生き方は出来なかっただろう。またその生き方でそれなりに成功をおさめ、学生や同僚にも尊重されている。

ところが、その日の朝、有江教授はふつと思ってしまったのである。私は長年、毎日毎日、大学に行く路線に疑いなく乗ってきた。しかし逆の路線に乗ると住宅街や名画座や遊園地がある。

そこには何があるのだろうか？

ガーッと地下鉄が来た。

有江教授は・・・フラッと逆の路線に乗り込んだ。

深々と座席に身を沈める。

ずっと忘れていた冒険が始まる。

（後書き）

最近、ホラーを書いてしまったので、年内に何とかホラーじゃない希望のある話を出したいと思いました。
何とか間に合いました。（- - ;）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8253p/>

列車に乗った男

2011年10月7日15時19分発行